

附属学校部

学校案内

school information

2022

つなぐ

教育 地域 ひと 社会

「いま伸びる力」と 「あと伸びる力」を育てる

附属学校部 部長あいさつ

私たち鳥取大学附属学校部は、教員を志望する学生のための教育実習校
園としての役割を果たす一方で、国や地域の抱える様々な教育課題の解決
につながる実践研究を大学教員等と共同で行っています。

4つの学校園（附属幼稚園・附属小学校・附属中学校・附属特別支援学校）は、
いずれも大学キャンパスを中心とする徒歩圏内にあるため、大学教員との
連携、校園間の連携を日常的に進めることができます。この強みを活かして、
園児・児童・生徒が、自己の資質・能力を高め、自立性・主体性を高めながら、
自他を認め合う人間関係の中で、着実に成長することができるように支援し
ていきます。

また、鳥取県教育委員会や鳥取市教育委員会をはじめとする地域の教育機関との連携を図りながら、キャ
リア教育・接続期の連携教育・外国語教育・プログラミング教育等について、ICTを活用した先導的な取り組み
を行っていきます。

私たちは、2017年10月に各校園が同じ課題意識のもとで研究に取り組むために、共通の研究主題である
「いま伸びる力とあと伸びる力を育てる」を設定しました。さらに、2020年4月には、つねに教育や学習
の質の向上を図り、その水準についての説明責任を果たしていきたいという思いから、校園共通の「めざす人
間像」と各校園の「教育に関する3つの基本方針」を策定し、ホームページ上で公表しました。

今後とも、私たち鳥取大学附属学校部の教育と研究にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいた
します。



附属学校部長 小玉 芳敬

附属学校部の「めざす人間像」

- 1 探究的な学びを通して、自己の資質・能力を高め、
社会に貢献する人
- 2 自己を知り、他者を知ることによって、よりよい
社会関係を築く人
- 3 自立性や主体性を高めながら、市民として自立する人

いきいき・すくすく保育

附属幼稚園

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/youchien/>

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な教育として位置づけられ、小学校以降の生活や学習の基盤を培う学校教育の始まりとしての役割を担っているものです。

本園では、その理念に基づき、子どもたちが自分の願いや期待をもって遊びに取り組みめるように環境を構成したり、個に応じた援助をしたりしながら保育をしています。子ども、保護者、保育者が互いにつながり合い、高め合うことができる幼稚園をめざしています。

本園の特色

子ども主体の保育

子どもたちの自主性・自発性を尊重する“自ら選んだ遊び”を中心にした保育を行っています。子どもたちは、遊びや時間・空間を自ら選び、納得がいくまで遊びます。保育者は心動かす体験を引き出すために、子どもの興味・関心を見取り、環境を工夫します。

多彩な園外保育

各年齢に合わせて、様々な園外保育を計画・実施し、体験の幅を広げています。

子育ての支援

「保育参加」を行っています。園の保育に保護者が入り、子どもたちの様子や幼児教育を理解し、子育てに生かしていただくようにしています。未就園児対象の「おやこびよんびょんサークル」や教育課程終了後の「預かり保育」など、子育ての支援も行っています。

本年度の研究

● 研究テーマ

子どもが夢中になって遊ぶ 保育者の援助の在り方
～職員研修を通して学び合う～



教育目標

幼児の望ましい経験や活動の場としての健康で安全な生活環境を整備し、個人差に留意しながら、集団生活を通して自主性、社会性(特に人とのかかわり)、創造性の芽生えを培う。

1. 自分でできることは自分でする子ども
2. 友だちとなかよくあそべる子ども
3. のびのびとたくましく、創造する子ども

大学とつながる



大学農場(フィールドサイエンスセンター)での体験(幼稚園)



全校造形遊び(小学校)



皇祐十学医

知・徳・体の調和のとれた児童、協調性があり粘り強さと責任感のある児童、帰属意識と規範意識の高い児童の育成をめざすとともに、個々の児童のよさを伸ばす教育活動に努めています。そして、幼・小・中の連携を軸に、一人一人に学力を確実に身につけさせ、個性を重視した豊かな人間性を育む教育実践に取り組んでいます。

本校の特色

学校シリーズ

- 旅の学校(6年)
島根(歴史学習)
- 砂の学校(全校)
たてわり班での活動
- 森の学校(4年)
船上山での活動
- 雪の学校(5年)
氷ノ山でスキー教室
- 実りの学校(全校)
1年間の学習の成果の発表

国際理解教育

- 外国語活動(1年生から)
- 英会話学習

連携と交流

- 附属幼稚園との交流(1年)
- 附属特別支援学校との交流(2年)
- 「ちいき・みらい」の学習(3～6年)
- 「キャリアに拓く」(全学年)
- 知的財産創造教育

本年度の研究

- 研究テーマ
「いま伸びる力」と「あと伸びる力」を育てる
個別最適な学びが、未来の知への探究心を高める



教育目標

確かな学力と創造性豊かな感性をもち、主体的に学び続ける子供の育成

- 確かな学力をもつと同時に、創造性豊かな感性をもつ児童の育成に努める。
- 人権尊重の精神を培い、学びを支える力(人間関係、伝え合う力、聴く力)の育成に努める。
- 何事にも自主的・積極的に取り組む態度を育てるとともに、課題を見出し解決していくことができる能力の育成に努める。
- 愛校心をもち、他者と協力して学び続けることができる態度を育てる。

Conne



文武併進・切磋琢磨

附属中学校

<https://www.chu.fuzoku.tottori-u.ac.jp>

伝統である自由な校風を支えてきた前向きな志向や互いを認め合う仲間意識を大切に、附中文化の主体的な実践者としてよりよい校風の醸成に取り組みもうとする生徒を育成しています。

本校の特色

- 多様な生徒が集まり、互いに刺激を受け「切磋琢磨」しながら学習し、また、和気あいあいと協力的に活動しています。
- 活発に部活動を行い、「文武併進」を体現しています。
- 大学の先生による授業、施設の活用など、大学と連携した取り組みが行われています。

主な行事

- 4月……………3年修学旅行
- 6月……………運動会
- 11月…………文化祭
2年大学体験学習
1年キャリアメッセージ

本校の生徒に学びの なかで修得してほしい力 (態度)

- (1) 自己を認め、他者を認める態度
- (2) 考えを深めていこうとする意欲
- (3) さまざまな方法によって考え、表現する力
- (4) さまざまな体験によって感じ、想像する力
- (5) 充実した日常生活を送るための基本的な知識と技能

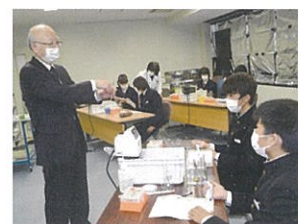
本年度の研究

- 研究テーマ
「いま伸びる力」と「あと伸びる力」を育てる
「学ぶ力を育む『やりくり』授業の開発」

教育目標

文武併進の尚徳精神に基づき、高い志と目標に向かって惜しみない努力を注ぎ、他者のために自分を生かす。また、切磋琢磨を通して開かれた心を育み、よりよく事を為す確かな個と集団の確立をめざす。

努力に基づく自信と自省の態度を
併せもつ中学生



なかよし交流会(幼稚園と小1との交流)



鳥取大学ファーストジョブ支援室への施設見学(特別支援学校)



附中学生の保育体験実習(2)

豊かな心を持ち、生活を楽しむ子を育む

附属特別支援学校

<http://special.main.jp/html/htdocs/>

本校は、知的障がいのある児童生徒が学ぶ特別支援学校です。自分づくりを大切にして一人一人の人格的自立をめざした教育を行います。豊かな心を持ち、生活を楽しむ児童生徒を育てたいと考えています。全教職員で子どもたちを育てていくアットホームな学校です。

本校の特色

- 国公立知的障害特別支援学校で唯一、専攻科を設置しています。小学部・中学部・高等部本科・高等部専攻科の育ちのつながりを大切にします。
- 大学附属として、教育および研究実践、教育実習など、大学と連携しています。大学・附属学校園の先生による授業や大学の施設利用も実施しています。
- 保護者と教職員が協力して立ち上げた「さざなみ作業所」、大学で働きながら、就労移行を支援する「ファーストジョブ支援室」があります。卒業後の働く場所の拡大にも努めています。
- 特別支援教育における地域のセンター的役割として、特別支援教育コーディネーターを中心に、教育相談、特別支援教育研修会の開催などを行っています。



教育目標

楽しい学校生活の中で、「自分づくり」を基盤として一人一人の力を精一杯伸ばし、働くことに喜びを持ち、社会の一員として生きる人間を育成する。

- 小学部 友だちの中で自分のよさを自分でつくりあげていく子
- 中学部 自分のめあてに向かって、仲間と一緒に意欲的に活動する生徒
- 高等部 自分をみつめ個性をいかし、仲間とともに主体的に生活する生徒
- 高等部 専攻科 社会への関心を持ち、様々な人と関わりながら、積極的に社会へ参加しようとする青年

本年度の研究

- 研究テーマ
「いま伸びる力」と「あと伸びる力」を育てる
6歳から20歳までの「自分づくり」を支える教育課程の創造

つながる四学校園

※2021年度より前の写真も掲載しています。



いっしょにあそぼう（特別支援学校と幼稚園との交流）



ミニ運動会（特別支援学校と小2との交流）



園にて

鳥取大学 附属学校部
教育の理念と方針

「知と実践」に基づく先導的な教育

附属学校部は本学が有する「知と実践の融合」を基に、我が国の教育、特に学校教育を先導することを目的とする。

「知」は、現在及び将来における新しい問題状況や場面において、次なる行動を促す側面であり、「実践」は、問題状況に応じて多様な方法を生み出す側面である。

したがって、附属学校の教育実践は、新しい時代を担う真なる意味の人間教育を展開するものであり、自信と自省の態度を備えた個性豊かな幼児・児童・生徒及び青年の育成をめざす。

附属学校園の使命

1. 先導的教育の展開

教育の質を高め豊かな活動を展開するために、本学教員の知と技法を活かし、教育内容の吟味と教育方法の開発に努める。

附属学校園をフィールドとした本学の授業展開

大学との連携

2. 教育実習・臨床研究の場

全学の教育実習を受け入れ、授業構成と授業分析に優れた学生に教育に努める。

スクールカウンセラーの配置、教育相談の実施

地域との協働

3. 地域教育課題の解決

地域教育の教育課題を精査し、その改善に向けた取り組みと対応策を、本学との共同研究により、地域への提供に努める。

本学教員による共同授業実施と一部授業の展開

令和4年度

附属幼稚園

環境を通して、かかわりの中で生きる力の基礎を育む
「人・もの・こと」との豊かな出会いと体験の充実

- 自立の芽生え
- 道徳心の芽生え
- 遊びの中の学びの充実（興味・関心・意欲）

附属中学校

知と情意の調和のとれた生徒を育てる
教科・領域の学びによって、よりよく生きようとする力を育む

- 自信と自省の態度をもった生徒の育成
- 特色のある校風の樹立
- 豊かな情操の育成
- 生徒指導と教育相談の充実

附属小学校

確かな学力と創造性豊かな感性をもち、主体的に学び続ける子供の育成

- 学ぶ意欲と学力向上
- 思いやりと規範意識の育成
- 国際理解教育・外国語活動の充実
 - ・ 大学と連携した教育活動
 - ・ 国際理解教育の充実
 - ・ 知的財産創造教育

附属特別支援学校

自分づくりを基盤として、働くことに喜びをもち、社会の一員として豊かに生きる人間の育成

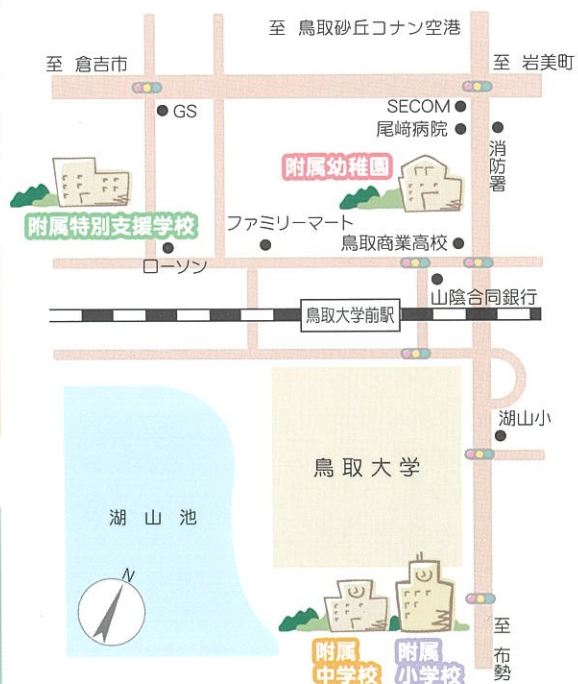
- 小学部から高等部専攻科までをつなぐ教育の充実
- 特別支援教育における地域のセンター的機能の発揮
- 人権が尊重される社会づくりの推進
- キャリア教育・青年期教育の充実

※令和4年5月1日現在

特別支援学校																	
小 学 部	2	各学年2	12	2		2		2		1		2		2		11	
				2	0	1	1	2	0	1	0	2	0	0	2	8	3
中 学 部	3	6	18	6		5		5								16	
				4	2	3	2	4	1							11	5
高等部本科	3	6	18	6		7		6								19	
				5	1	3	4	5	1							13	6
高等部専攻科	2	6	12	6		6								12			
				3	3	5	1							8	4		
計	10	20	60													58	
																40	18

※高等部本科・専攻科は R2 年度より (6)

【校 長】川井田 祥子（地域学部）
〒680-0947
鳥取県鳥取市湖山町西2丁目149番地
TEL.0857-28-6340 FAX.0857-28-7078
E-mail.shien@fuzoku.tottori-u.ac.jp



〒680-0945 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地
TEL.0857-31-5168 FAX.0857-31-5540 E-mail.sc-soumu@adm.tottori-u.ac.jp